

## 第 58 回全国学童保育研究集会（20231104~20231105）レポート

【クラブ】（あそびばクラブ）

【名 前】（松保恵美）

①2 日目に参加した分科会のタイトルをお書きください。

第（19）分科会 （子どもの気持ちに気づく - 家庭で、学童保育で）

第（1-②）分科会（保護者と指導員で学童保育をもっとよりよく）

※全体会のみに参加の場合は、全体会の記念講演のタイトルをお書きください。

②この分科会を選んだ理由をお書きください。

・第 19 分科会

学童に登所してくる子たちを間近でみると、感情を出せてる子、抑えている子、出せていない子が見えてくるので、抑えている、出せていない子たちに対して、どう接したらもっと自己開示してもらえるか？気になりました。

・第 1-②分科会

タイトルから、普段なかなか保護者の皆さんとしっかりお話する機会が少ないので、具体的な内容が学べると思いました。

③2 日間の全体会と分科会で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

第 19 分科会では、子どもたちはもちろんですが、まず自分の気持ちに気づけているか？別件でイライラした感情をぶつけていないか？親御さんにも言えることですが、自分にゆとりがないと、受け止められない。子どもが何か言いたくても、語れる環境、場が大切。無理に聞こうとしない、ただ見守ることだけでも子どもたちには伝わる。ということを感じました。

第 1-②分科会では、②の選んだ理由のような私が思う内容とは異なる中身でしたが、今、学童が抱える課題や(国の基準が統一されていないこと、指導員不足等)子どもたちの“行かねばならない場所”から“行きたい場所”に思ってもらえるよう、これからも努めていきたいと思いました。

※提出されたレポートは、当会の広報紙やホームページに掲載する場合があります。あらかじめご了承ください。

※×切は、11 月 30 日（木）です。常勤専任指導員に手渡し、または、okazakigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。